



西東京市とUR都市機構が

しんやぎさわ 新柳沢団地における連携協力に関する協定を締結

西東京市と独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」という。）は、令和4年3月11日（金）に「新柳沢団地における連携協力に関する協定」を締結いたしました。

この協定は、UR都市機構が管理する新柳沢団地（西東京市柳沢三丁目4）において、西東京市が掲げるまちづくりの目標である「だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせるまち」及びUR都市機構による団地の地域医療福祉拠点化の目的である「多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まち（ミクストコミュニティ）」を両者が連携協力して実現することを目指しています。

連携協力項目は以下のとおりです。

- 一 超高齢社会における地域づくりに関すること
- 二 包括的な地域福祉の体制づくり及び在宅療養の推進に関すること
- 三 健康寿命の延伸及び健康づくりに関すること
- 四 多世代交流の促進、居場所づくり及び全世代型の相談体制の構築に関すること
- 五 その他、地域の活性化及び賑わいの創出に関すること

今後は、UR都市機構が管理するひばりが丘パークヒルズ（西東京市ひばりが丘3丁目）におけるフレイル[※]予防事業等での両者の連携実績を踏まえ、更に連携協力し、地域活動と地域関係者のネットワークの活用を図りながら、協定の理念の実現に向けた取り組みを進めていきます。

※フレイル…「虚弱」を意味する英語の「frailty」が語源。元気な状態と介護が必要な状態の中間のことを言い、年を重ねて心身の活力が低下した状態。

【お問い合わせ先】

○UR都市機構東日本賃貸住宅本部
多摩エリア経営部 ウェルフェア推進課 竹林・関 （電話）042-595-9215
総務部 総務課（広報担当） 岡田 （電話）03-5323-2555

■資料

1 新柳沢団地（UR賃貸住宅）概要

入居開始年月	平成4年10月
間取り	1DK～3LDK
専有面積	約31㎡～約81㎡
管理戸数	513戸



2 周辺案内図



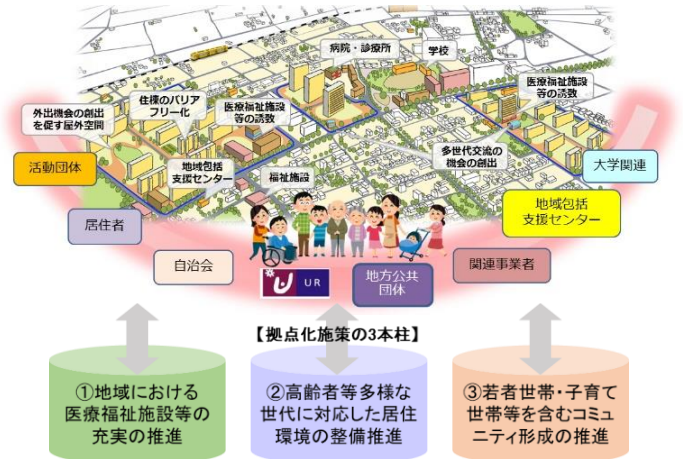
3 地域医療福祉拠点化について

超高齢社会におけるUR都市機構が果たすべき役割として、また、国が進める地域包括ケアシステムの構築と合わせ、地域の関係者の方々と連携・協力しながら、豊かな屋外空間を備え、多くの方々が住まう団地を“地域の資源”として活用し、地域に必要な住宅・施設・サービスの整備を推進していくことです。

詳しくは、以下リンクをご覧ください。

https://www.ur-net.go.jp/chintai_portal/welfare/kyoten/index.html

【地域関係者との連携体制構築】



4 【参考】ひばりが丘パークヒルズにおける西東京市とUR都市機構の連携

西東京市とUR都市機構による「ひばりが丘パークヒルズにおける連携協力に関する協定」の締結について

(平成29(2017)年7月31日 UR都市機構東日本賃貸住宅本部プレスリリース)

https://www.ur-net.go.jp/east/press/lrmhph000000buwo-att/ur2017_e0731_hibari_gaoka.pdf